

2016年度環境会計

【集計範囲】(株)モスフードサービス(本社、事務所及び直営店) 【対象期間】2016年4月1日～2017年3月31日
 【参考】環境省環境会計ガイドライン(2005年版)

2016年度は、事務所機能を東京および大阪に集約したことにより、オフィスの電気使用量が削減しました。また、キャンペーン商品における商品在庫の調整やフードバンクへの食材寄贈等により倉庫廃棄物の発生抑制に努め、循環資源コストの削減をしています。

環境保全コスト

単位:千円

分類	主な取組み内容	投資額	費用額	増減額(前年比)		
				投資額	費用額	
① 事業エリア内コスト		36,510	97,851	2,360	1,365	
内訳	①-1 公害防止コスト	排水設備投資 下水道料金の支払	34,270	57,357	6,837	3,457
	①-2 地球環境保全コスト	空調機・LED照明設備投資 省電力機器保守	2,240	5,415	▲ 4,477	1,964
	①-3 資源循環コスト	事業系廃棄物のリサイクル及び廃棄処理	0	35,080	0	▲ 4,056
② 上・下流コスト	容器包装リサイクル協会費用	0	742	0	▲ 383	
③ 管理活動コスト	環境マネジメントシステムの運用・教育・環境情報の開示	0	60,963	0	14,404	
④ 研究開発コスト	環境保全に資する店舗設計並びに実験店舗の構築	0	124	0	▲ 185	
⑤ 社会活動コスト	コミュニケーション・社会貢献活動	0	1,494	0	135	
⑥ 環境損傷対応コスト		0	0	0	0	
⑦ その他のコスト		0	0	0	0	
合計		36,510	161,174	2,360	15,336	

(株)モスフードサービス(単体)決算数値 (2016年度)

投資額の総額	1,924,531 千円
研究開発費の総額※注1	33,468 千円

※注1: 環境保全コストの「④研究開発コスト」は含んでおりません。

環境保全効果および経済効果

環境保全効果の分類	環境保全効果を表す指標					経済効果 (前年比) 単位:千円
	項目	単位	2015年度	2016年度	削減量 (前年比)	
① 事業活動に投入する資源に関する効果	電気使用量〔本社・事務所〕 ※1	◎ 千kWh	507	478	28	715
	電気使用量〔直営店〕 ※1	◎ 千kWh	9,111	9,074	37	933
	都市ガス使用量〔本社・事務所〕 ※2	◎ 千m ³	2	2	▲ 0	▲ 10
	都市ガス使用量〔直営店〕 ※2	◎ 千m ³	269	264	5	744
	LPガス使用量〔直営店〕 ※2	◎ 千m ³	28	27	1	291
	水道使用量〔本社・事務所〕	千m ³	2	1	0	26
	水道使用量〔直営店〕	千m ³	107	111	▲ 4	▲ 1,606
	空調エネルギー〔本社〕 ※3	◎ GJ	1,549	1,652	▲ 103	▲ 402
	コピー用紙使用量〔本社・事務所〕	千枚	1,620	1,745	▲ 125	0
	CO2排出量(◎を換算)	t-CO ₂	5,945	5,789	156	-
② 事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	事業系一般廃棄物〔本社・事務所〕	t	6	6	0	101
	倉庫廃棄物処分	t	103	34	70	3,477
経済効果合計						4,271

<CO2換算係数>

改正省エネ法の換算係数を元に作成しています。

※1 電気 : (2015年度)=電力各社発表の2014年度調整前の係数、(2016年度)=電力各社発表の2015年度調整前の係数

※2 ガス : 都市ガス(2015・2016年度)2.23t-CO₂/千m³

: LPガス(2015・2016年度)3.00t-CO₂/t * 重量換算2.0t/千m³/t

※3 空調エネルギー : 温水・冷水(2015・2016年度)0.057t-CO₂/GJ

環境会計作成にあたって

- ・環境保全コストの増減額の▲は、減少額を表しています。
- ・環境保全効果および経済効果の▲は、共に増加量、費用増加額を表しています。
- ・複合コストの計上は簡便な基準による按分集計を採用しています。